

景観フォーラム

巻頭言

長野市の景観まちあるきをしようと思い、長野駅を降りると足は自然と善光寺に向かいました。駅から大通りに出ると、足が善光寺の表参道に向かってしまうような作りでした。この表参道は自動車がゆったり走れるぐらいの道幅を持つ仲見世通りであり、両側にある歩道に沿って瀟洒な店舗を覗きながら駅から2キロほど先にある善光寺に向かうという具合でした。この表参道は、歩いている人には殆ど気づかれない位の善光寺に向かって昇る傾斜を持った道で、正面にある善光寺は、大変大きな建物ですので、見失うはずはありません。

さてその善光寺ですが、開祖ははっきりせず、創建が644年という飛鳥時代になるという大変古い時代から続いているお寺です。このお寺の特徴として、古いお寺であるということから、仏教が宗派に分かれる以前からの寺院ということで、宗派の別なくお参りができるお寺であるということです。また、古くからあったということから旧来からの女人禁制がこのお寺では実施されず、女性の救済場所としても有名だそうです。平たく言えば、身分を問わず、老若男女すべての人々を受け入れることができる、古くからの頼みがいのある万人のためのお寺といったものだったのではないのでしょうか。正面にどんと立つ国宝である本堂ですが、その大きさは、間口24m、奥行き54m、棟高26mというかなり大きなもので、東大寺大仏殿（間口57m、奥行50m、棟高49m）と比較すればその大きさが想像できます。

長野市の景観まちあるきをしようと思き始めたのですが、善光寺見学でほとんど時間が無くなってしまいました。善光寺わきにある美術館の屋上から長野市を見渡し、長野というこの都市の景観は、日本アルプスを望む善光寺を中心に、7世紀から長きにわたって独特に栄えた品の良い街並みであることが理解できました。

NPO 法人日本景観フォーラム理事長 斉藤全彦

<日本景観フォーラム 2022 年度年間スケジュール>

*2022 年度とは 2022 年 4 月 1 日⇒2023 年 3 月 31 日のことです。

2022 年

- 4月12日（火）15:00 東京都訪問（神宮外苑再開発を問う）
- 4月19日（火）16:00 オンライン会議 **第1回景観研究会**
- 5月20日（金）**第1回景観まちあるき**（神宮外苑・表参道）
- 6月21日（火）16:30 オンライン会議 **第2回景観研究会 第1回理事会**
- 7月26日（火）16:30 オンライン会議
- 8月20日（土）／ 8月21日（日）**特別景観視察会**（斑尾高原）
- 8月30日（火）16:30 オンライン会議 **第3回景観研究会**
- 9月24日（土）**第2回 景観まちあるき**（王子・駒込界限）
⇒当日台風のため10月1日（土）に変更し実施に至る。
- 10月25日（火）16:30 オンライン会議 **第4回景観研究会**
- 12月03日（土）**第3回 景観まちあるき**（神保町）
- 12月20日（火）忘年会

2023 年

- 1月28日（土）**第4回 景観まちあるき**（検討中）
- 2月21日（火）16:30 オンライン会議 **第5回景観研究会 第2回理事会**
- 3月25日（土）**第5回 景観まちあるき**（検討中）

■以上のスケジュールは、ご提案ですので随時皆様のご意見を反映してまいります。

路面電車に乗って 2

豊村泰彦

高岡の街には旧き好き昔がある



■プロローグ

今年の8月20日夜、富山県高岡市内の住宅で2歳の幼児が、お風呂から出た直後に忽然と姿を消し、行方が分からなくなったという事件が起きた。母親が目を離したほんの10分足らずの間の出来事であった。2週間にわたり必死の搜索を続けたが、9月4日、同市と隣接する氷見市の漁港から4.7キロの海上で子どもとみられる遺体が見つかったのだった。この事件は理不尽さゆえに多くの人に衝撃を与えた。なぜ幼い子供が一人で外に出なければならなかったのか、なぜ川に向かったのか、いくら考えても答えが出てこない。このような混沌のブラックホールに迷い込んだら最後抜け出すことは難しい。あとは自分で納得のいくストーリーを創造して、非現実の世界の中で生きていくしかない。突然の身内の死、特に子供の死は絶対に受け入れられないのであるから、そうなることは仕方のないことなのだ。そのような印象を高岡市に当てはめるのはまったくの筋違いであるが、高岡市に限ってこのような惨めで不幸な事件が起きるとは想像できないのに起きてしまったという理不尽さゆえに、記憶に刻み込まれたのである。



■高岡駅から万葉線で出発

高岡市は、富山県北西部にあり、富山市に次ぐ県内第2の都市である。というのはガイド上の説明であり、実際に行ってみると、人口約16万人といいながらそれより少ないように感じた。改札を抜け駅前のロータリーに出ても歩いている人の姿は疎らである。

先ず目を引くのは8年前に新しくできた駅ビルの1階の一角に設けられた路面電車専用の停留所である。この停留所は路面電車である万葉線のホーム兼待合室となっており、富山駅からの鉄道の乗り継ぎが便利なおうえ内装もお洒落である。

この万葉線に乗ることによって市内の主要な観光スポットを巡ることができる。万葉線の車両は、「アイトラム」という愛称のついた2両一体型の超低床電車で、色は赤い車両と青い車両の2種類が見られた。それ以外にも高岡市出身のまんが家藤子・F・不二雄氏の人気キャラクター「ドラえもん」が描かれた「ドラえもんトラム」というのが運行されているらしく期待していたのだが残念ながら今回確認することはできなかった。



■蔵のまち並み山町筋

高岡市の観光スポットが集中するのは高岡城址公園に近い片原町である。高岡市は、加賀藩の2代目藩主前田利長が築いた高岡城の城下町として栄え、廃城後は商工業都市として発展した。中でも城址公園近くの山町は商業活動の中心地で、東西600mという範囲に明治期に建てられた土蔵造りの商家が100棟近く点在している。土蔵造りの町家が建てられたのは、市街地の約6割が焼失した明治33年の大火後のことで、徹底した防火対策によって建てられた土蔵造りの商家群は、現在優れた景観を有するという評価につながり、この山町筋は2000年に国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。また、土蔵造りの商家に交じってレンガ造りの銀行や大正時代の洋風建築が見られるのも高岡の町家の特徴である。

土蔵造りのまち並みというとまず思い浮かぶのが埼玉県川越や千葉県佐原のまち並みである。特にここは川越と雰囲気似ている。川越と言えばいまや首都圏の人気観光スポットで旅行者による混雑が常態化している。しかし、ここではそういうこともなくゆったり旧き好き昔にタイムスリップしてまち歩きを堪能することができる。



■鋳物のまち金屋町

次に蔵造のある筋から北に10分くらい歩くと金屋町というところに突き当たる。金屋町は鋳物つまり銅や錫を原材料に加工した製品を製作販売している店が集まる筋である。その発祥は前田藩主利長の時代に遡り、利長が領内から選りすぐりのエリート鋳物師を高岡に呼び寄せ、鋳物工場群を開設したことに始まる。その後、高岡は鋳物のまちとして発展するも現在は、多くの工場が郊外に移転したため、鋳物店は疎らである。ただ千本格子の家並みと銅片を埋め込んだという石畳の道の景観は素晴らしい。



■いい顔してる、高岡の大仏

片原町の停留場から少し駅の方面に戻ったところに高岡大仏がある。日本三大大仏の一つだそうだ。一番大きいのが奈良(東大寺)の大仏で次が鎌倉の大仏、その次は諸説あるが高岡の大仏らしい。鎌倉の大仏よりも少し小振りだが、高さは約16メートルと堂々とした体格だ。顔の表情は穏和で仏像にしてはイケメンと言えるのだが、周囲には緑が少なく、背後にマンションや電信柱などが見えたりして、シチュエーションがあまり良くない。せっかく美しい顔立ちをしているのだからもう少し落ち着いた雰囲気のある場所にあつたらいいのと思った。



■建築美を追求した高岡市美術館

高岡城跡を公園にした古城公園は大仏から北東に行ったところ。そこから少し足をのびしたところに高岡市美術館がある。この日は月曜日で美術館は休業日だったので中には入れなかった。残念ではあったが、アートの施設にふさわしい建築美を外部から眺められた。建物全体に円やアーチを随処に配したポストモダン建築で驚くほどの凝りかたはしていないが、非常に柔らかみのある建築デザインである。設計者は世田谷美術館や多摩ニュータウンなどを設計した内井昭蔵で、古い街並みの中に現代的でかつ個性的な建築を置くのは難しいし勇気がいるが、非常に周囲とのバランスが取れていて、周囲に溶け込んでいるのはさすがである。平成 10 年(1998)には国の「公共建築百選」のひとつに選ばれている。



■迫力ある伽藍、瑞龍寺

帰りは美術館から比較的近い広小路から万葉線に乗って高岡駅に戻った。時刻は午後 5 時前。まだ時間があるので駅の南口から徒歩 10 分くらいのところにある瑞龍寺という寺に参拝することにした。瑞龍寺は曹洞宗の寺で前田利長の菩提を弔うため三代藩主利常によって江戸初期に建立された寺である。加賀百万石のことはあって建物は重厚で巨大。一直線上に配置された総門、山門、仏殿、法堂と左右に配された各種の堂とが回廊でつながる伽藍形式は城壁を思わせる。江戸時代初期の禅宗寺院建築の傑作と評されるのも頷ける。富山県では唯一の国宝に指定された。



■エピソード

今回は万葉線の高岡駅から比較的近いところを集中的に廻ったが、万葉線は高岡市と富山湾に面する射水市の終点まで約13kmの路線なので、乗車したのはほんの一部である。射水市側にも歴史的、風土的に興味ある景観が見られるはずで機会があればぜひ全線乗ってみたい。しかし、富山を含めてローカル線のめぐる経営状況は決して良くなく、またいつかでは手遅れになることもある。乗客が少なくなれば廃線ということもありうるからだ。この万葉線も、国鉄民営化にあたって廃線の検討対象となったところを、路線を存続させようと市民や自治体が協力して第三セクター※鉄道路線として生き延びたという経緯がある。もともと新幹線や大都市部の路線と比べてローカル鉄道は、地方の人口減少や車社会への移行によって経営環境が年々厳しくなる一方で、国やJR各社は赤字路線の整理、廃止を進めているところだ。その中であって、第三セクターは地方自治体が自らが地域の生活路線を守るために鉄道経営に参画した鉄道なのである。

今、全国のローカル線のあり方について国土交通省の有識者会議が、1キロあたりの1日平均乗客数(輸送密度)が「1千人未満」などの条件を提示し、全国の自治体とJRに赤字ローカル線のあり方の検討を促す提言をまとめた。早い話、赤字路線を整理、廃止しやすくするための条件を整えたわけだが、今後、地方ローカル線は第三セクターへの早期の移行方法やそれ以外の方法、例えば、軌道の整備と運送を別々の事業者が行う上下分離方式(富山ライトレール)なども含めて早期に対応することが求められているのだ。

富山県では万葉線の第3セクター化や富山市の上下分離方式の移行などローカル鉄道改革積極的に取り入れているが、こうした富山県の対応は全国のローカル鉄道が生き残るための模範となるだろう。

※第三セクター=第一セクターの国及び自治体と第二セクターの民間企業が共同出資して設立された事業体



斑尾ジャズ2022

石見茂夫

コロナ禍で2年中止となった「斑尾ジャズ」が2022年8月20日（土曜日）、21日（日曜日）に開催されるとの案内を、イベントスタッフとして協力している景観フォーラムの豊村理事から戴きました。

斑尾ジャズは1981年から開催されているジャズフェスティバルであるが、一時期開催が見送られていました。形を変えて出演者がアマチュアバンド主体になり2007年に再開された。

数年前にも案内を戴きジャズ好きな私は訪問することを決めて一人で聴きに行ったことを思い出し、今回は斉藤理事長、豊村理事、丹羽理事と一緒に掛ける準備に掛かりました。

8月の夏休み後半の土日に開催なので、飯山駅までの北陸新幹線の乗車券を各自手配することにしました。宿泊先は以前景観フォーラムの役員だったペンション・エルムのオーナーである新山さんのペンションに泊まりたいと思っていましたが、主催者事務局の宿泊先の割り振りの関係でペンション・絵日記に決まり豊村理事が手配してくれました。

開催日の土曜日当日は北陸新幹線の「はくたか」で飯山駅に向かいましたが、想像通り満席の状態です。早めに指定席を手配して大正解でした。コロナ禍に巻き込まれ3年振りに外出規制の無い夏休みを迎え多くの方々が帰省や旅行に出掛けていることを実感しました。

飯山駅からはバスの乗り継ぎが悪く、タクシーで斑尾高原の宿泊先のペンション・絵日記に向かいました。会場入り口までオーナーの奥様にメイン会場に送って戴きました。

久しぶりに新山さんにお会いできお元気に活躍されていることをたいへん嬉しく思いました。81歳に成ったとの事でしたが昔とまったく変わらず、斑尾ジャズのイベントを取り仕切っている姿にあらためて感激しました。

メイン会場は例年と同じく標高1382mの斑尾山の麓の斑尾高原スキー場に特設屋外ステージが作られていました。サブ会場として斑尾高原ホテル前にテラスステージが用意されていましたが、以前よりもステージが小さくなっていました。

イベント初日の20日（土曜日）は昼前からあいにくの雨が降り出しましたが、常連の観客は簡易テントや折りたたみ椅子を持参していて雨に関係なく演奏を聴き入っていました。

本ジャズフェスティバルは出演者の演奏を聴くだけでなく、長野県内各地のワイン、地ビール、シードル等多くの生産者の売店の他、地元の食材を使ったコロッケ、焼き鳥、焼きそば等の販売も行われていました。斑尾ジャズ開催の目的は単にジャズの演奏イベントではなく、長野県産の地元の農作物を活用した食品等の販売にも力を入れています。地域活性化の一環として重要なイベントとして位置づけられています。

美味しいお酒を飲みながらジャズの演奏を聴くことが出来て至福の時間を過ごすことが出来ました。販売をしている地元の方々にお酒の説明をして戴き飲み比べができて良かったです。

天気にも恵まれればもっと楽しく過ごすことが出来たと思うと少し心残りでした。

また、当初参加予定の丹羽理事が欠席せざるを得なかった事が残念でした。

会場の様子
(受付)



(テントを張ったり傘をさしている観客)



(テント内からのステージ)



(雨が上がり演奏も盛がっています)



(時々雨が降り始めました)



(斑尾高原ホテル前は霧に包まれていました)



斑尾ジャズ 開催主催者の開催案内（斑尾ジャズ主催者HPから抜粋）

斑尾ジャズ（ふるさとのジャズ交流祭 in 斑尾）は、約30年前この地で起こり、2003年を最後に休止していた「ニューポートジャズフェスティバル in 斑尾」という野外音楽祭の先駆けをなしたイベントを、参加と交流をテーマとする祭りとして継承し、地域文化にしていこうと、2007年に、多くの地元の人たちと全国のジャズファンが、ボランティアと手作りをベースに協働で立ち上げたもので、今回15回目となります。

当初は、演奏者＝観客という規模でスタートしましたが、年々演奏者も観客も増え、「社会人バンドの野外ジャズフェスティバル」として、その名が知られるようになりました。「北陸新幹線・飯山駅」も開業し、東京から最寄駅の飯山駅まで、乗り換えなしで1時間39分、金沢からは1時間15分。驚くほど、交通の便が良くなりました。

斑尾ジャズの一番の特長は、演奏者、観客、地元との親睦・交流。実行委員・地元一同、心をこめて準備をしており、一人でも多くの方とお会いできることを願っております。

斑尾高原は、真夏でも冷房要らず。自然の真中で、ジャズの心地よい音と高原の風を感じながら、心身ともにリラックスし、素晴らしく楽しい夏休みにしていただけたら幸いです。

それでは、斑尾高原で、お会いしましょう。

斑尾ジャズ 開催案内

開催日	2022年8月20日(土)～21日(日)
主催	ふるさとのジャズ交流祭実行委員会
開催場所	新潟・長野県 斑尾高原特設野外ステージ（県境） 斑尾高原ホテルテラス
参加バンド	ビッグバンド（11名以上 ゴスペル含む）：約11バンド コンボ（3～10名）：約20バンド
観客動員	約4,000人（予定）
web サイト	http://www.madaraojazz.com
事務局	info@madaraojazz.com 0269-64-3505（斑尾高原エルムペンション内）

シードル・イベント

【会場】斑尾ジャズメインステージ会場内

【日時】2022年8月20日(土) 9:00～8月21日(日) 17:00

【参加ワイナリー】

 北信地区（千曲川ワインバレー）

- ・サンクゼール
- ・たかやしろファーム
- ・たてしなツプル

 中信地区（日本アルプスワインバレー）

- ・Le Milieu（ルミリュウ）
- ・大池ワイン

 中信地区（桔梗ヶ原ワインバレー）

- ・サンサンワイナリー
- ・ベリービーズワイナリー
- ・南信地区（天竜川ワインバレー）
- ・VINVIE（ヴァンヴィー）
- ・ファーム&サイダリーカネシゲ

斑尾ジャズ 2022 パンフレット（表面）



Madarao JAZZ 2022 since 2007

メインステージ出演バンド

20日 [sat]

- 10:40 伊佐津和朗クインテット (長野県-Combo)
- 11:15 竹下博子 (Vo) & Friends (東京都-Combo)
- 11:50 メセナゴスベルクワイア (長野県-Gospel)
- 12:40 Double Rainbow (神奈川県-Combo)
- 13:15 Project D.D.T. (東京都-BigBand)
- 13:50 You Only Sing Once (神奈川県-Gospel)
- 14:25 N・Y BIGBAND (東京都-BigBand)
- 15:00 えりいとじゃずおーけすとら (東京都-BigBand)
- 15:35 6 Floor Jazz Orchestra (東京都-BigBand)
- 16:10 MF Tribute Band (神奈川県-BigBand)

21日 [sun]

- 10:00 Caliente (東京都-Combo)
- 10:35 デキシーショークース (東京都-Combo)
- 11:10 DD Jazz Collective (東京都-BigBand)
- 11:45 べぼバンド (東京都-BigBand)
- 12:20 フカノマサシ & THE SIDEWINDERS (東京都-Combo)
- 13:10 Marble Jazz Orchestra (神奈川県-BigBand)
- 13:45 J・O・Y Gospel (新潟県-Gospel)
- 14:20 Lady Honkerz (東京都-Combo)
- 14:55 Azumino Jazz Quartet (長野県-Combo)
- 15:30 Brass Honkers (東京都-BigBand)

テラスステージ出演バンド

20日 [sat]

- 12:30 Agent (長野県)
- 13:05 Genaric (東京都)
- 13:40 坂根裕クインテット (東京都)
- 14:15 LALALA BLESSING NIIGATA (新潟県)
- 15:25 DENKI BRAN (神奈川県)
- 16:00 いまむら直子と亀仙人スーパーバンド (東京都)

21日 [sun]

- 10:45 斑尾ジャズコンボ (東京都)
- 11:20 Banana Pancake Trail (東京都)
- 12:25 the ies (長野県)
- 13:00 Lady Honkerz (東京都)
- 13:35 TMT (東京都)
- 14:10 TM チーム with Manri (東京都)

新潟・長野県（県境） 斑尾高原特設野外ステージ
斑尾高原ホテル テラスステージ

会場 斑尾高原ホテル

主催 ふるさとのジャズ交流祭実行委員会

協賛 (株)アピラ・サッポロビール(株)・(株)ポーラ・(株)ロッテ
 メルシャン(株)・日本たばこ産業(株)・麒麟ビレージ(株)
 ヤマキ(株)・(株)サンクゼール・日本カルミック(株)・共立製菓(株)
 (株)田中屋酒造店・増田製菓(株)・新潟商工会議所

お問合せ 実行委員会事務局 0269-64-3505
お問い合わせ先 斑尾高原ホテル

斑尾ジャズでも毎年お世話になったジャズ評論家黒川昌久さんが
 昨年末97歳で逝去されました。
 斑尾ジャズは今年「黒川昌久賞」を創設し哀悼の意を表します。

入場無料

2022.8 / **20 Sat** **21 Sun**

<http://madaraojazz.com>

Webでは最新情報や
 出演バンド情報など
 随時配信!

斑尾ジャズ 2022 パンフレット (裏面)

NEW! NAGANO CRAFT CIDRE

Madarao JAZZ コラボ企画

ジャズとシードルとワインも！

人気清涼のリンゴのお酒「長野県産シードル」の生産者ブースが斑尾ジャズ会場に登場！
真夏の高原で爽やかに飲み心地良い長野県産シードルを斑尾ジャズを聴きながらお楽しみください！ (※写真は他のイベント会場です)

会場風景

2019 年斑尾ジャズ賞受賞 Brass Honkers

テラスステージ

斑尾JAZZ への ACCESS 〒949-2223 新潟県妙高市樺本 1053 0269-64-3505

斑尾高原

●電車の場合
北陸新幹線(約1時間50分)・飯山駅
飯山駅下車、斑尾高原行きバスにて25分。終点「斑尾高原」下車

●自動車の場合
上信越自動車道 豊田・飯山 IC
より「飯山」経由 30分
「まだらおの湖」経由 15分

斑尾ジャズ2022 出演スケジュール

斑尾ジャズ2022出演スケジュール(仮)																		
☆メインステージ							☆テラスステージ											
	開演	終演	バンド名	活動拠点	スタイル	出演希望者 人数 (募集)		開演	終演	バンド名	活動拠点	出演希望者 人数 (募集)		開演	終演	バンド名	活動拠点	出演希望者 人数 (募集)
8/20 出	9:00	9:40	～サウンドチェック～リハーサル				8/20 出											
	9:45		開場															
	9:55	10:05	開会挨拶 司会者紹介															
M-1	10:40	11:10	伊佐津路部クインテット	長野県	コンボ	土曜朝一	5	11:00	11:20	開会者他メインステージから移動								
M-2	11:15	11:45	道楽グループ	東京都	コンボ	土曜AM	5	11:20	12:00	サウンドチェック								
M-3	11:50	12:20	メセナゴスペルクワイア	長野県	ゴスペル	土曜AM	12											
	12:20	12:40	時間調整(ブース告知等)				T-1	12:30	13:00	Agent	長野県	土曜PM早め	5					
M-5	12:40	13:10	Double Rainbow	神奈川県	コンボ	土曜PM早め	9	T-2	13:05	13:35	Lalala Blessing Niigata	新潟県	土曜PM	7				
M-6	13:15	13:45	Project O.D.T.	東京都	ビッグバンド	土曜PM	19	T-3	13:40	14:10	斑尾ジャズコンボ	東京都	土曜PM	4				
M-7	13:50	14:20	You Only Sing Once	神奈川県	ゴスペル	土曜PM	17		14:10	14:30	時間調整							
M-8	14:25	14:55	N・Y BIGBAND	東京都	ビッグバンド	土曜PM14時	18	T-4	14:30	15:00	Generic	東京都	土曜?	4				
M-9	15:00	15:30	えりいとジャズおーけすとら	東京都	ビッグバンド	土曜PM前め	18	T-5	15:05	15:35	DENKI BRAN	神奈川県	土曜PM	5				
M-10	15:35	16:05	6 Floor Jazz Orchestra	東京都	ビッグバンド	土曜PM前め	20	T-6	15:40	16:10	いまさら酒子と島松人スーパースター	東京都	土曜PM	7				
M-11	16:10	16:40	MF Tribute Band	神奈川県	ビッグバンド	土曜PM	14											
						137												32
8/21 日	9:30		開場				8/21 日	10:00	10:15	ステージ・機材セット								
M-12	10:30	10:30	Caliente	東京都	コンボ	7												
M-13	10:35	11:05	デキシーショーケース	東京都	コンボ	日曜AM	7											
M-14	11:10	11:40	OO Jazz Collective	東京都	ビッグバンド	日曜AM	16	T-7	11:00	11:30	竹下博子(Vo)&Friends	東京都	日曜AM	5				
M-15	11:45	12:15	ペペよバンド	東京都	ビッグバンド	日曜AM 1st+前週	17	T-8	11:35	12:05	Banana Pancake Trail	東京都	日曜	5				
M-16	12:20	12:50	フコノマサシ&THE SIDEWINDERS	東京都	コンボ	日曜	7	T-9	12:10	12:40	the ies	長野県	日曜早め	4				
	12:50	13:10	時間調整(ブース告知等)					12:40	13:00	時間調整								
M-17	13:10	13:40	J.O.Y Gospel & Bless You	新潟県	ゴスペル	日曜PM	12	特別枠	13:00	13:30	Lady Monkeys	東京都	日曜PM早め	6				
M-18	13:45	14:15	Marble Jazz Orchestra	神奈川県	ビッグバンド	日曜PM	16	T-10	13:35	14:05	TMT	東京都	日曜	4				
M-19	14:20	14:50	Lady Monkeys	東京都	コンボ	日曜PM	8	T-11	14:10	14:40	TMチーム with Marri	東京都	日曜	5				
M-20	14:55	15:25	Azumino Jazz Quartet	長野県	コンボ		4	14:45	15:15	(予留枠)								
M-21	15:30	16:00	Brass Monkeys	東京都	ビッグバンド	日曜PM	10											
	16:05	16:20	表彰															
						182												29
						239												61
合計人数						380												

斑尾ジャズの歴史

出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』HPから抜粋

ニューポート・ジャズ・フェスティバル・イン・斑尾 (Newport Jazz Festival in Madarao) とは、1982年に始まった、斑尾高原で毎夏（7月、8月）催されるジャズ・フェスティバル。大規模野外イベント。

スキーリゾート斑尾高原（1972年斑尾高原スキー場開場）の10周年記念事業として、ニューポート・ジャズ・フェスティバルを誘致して始まった。地元のペンション経営者らが構想し、1981年ジョージ・ウェインを招いて形を作った。夏の高原で、ゲレンデを観客席に、ビールでも飲みながら野外でジャム・セッションを楽しむ趣向のイベント。当地の様々なレジャーと組み合わせて楽しむことができる。

なお1995～1997年は開催されておらず、2004年以降もスポンサーが集まらないことから開催されていない。

出典：信州の旅 COM HPから抜粋

斑尾高原・ニューポートジャズフェスティバル

毎年恒例だった Newport Jazz Festival in 斑尾は2004年より中止となっております。

2007年夏よりスタイルを変えて「ふるさとのジャズ交流祭 in 斑尾」と銘を打ちまして、都会のライブハウスやビッグバンドを形成をしてジャズ大会やジャズ祭で活躍をしている、アマチュアの日本のアーティスト中心のメンバー約総勢200名のスケールでジャズ祭を盛り上げております。人気のビッグバンドも登場し高原のジャズ祭が復活致しました。

Newport Jazz Festival in 斑尾 2003 （当時の写真 同上HPから抜粋）



飯山市文化交流館「なちゅら」

JR飯山駅からほど近い場所に新幹線開業に合わせ飯山市文化交流館「なちゅら」が開館した。隈研吾氏の設計、清水建設の施工による、自然の木材を多用した落ち着いた建築物であった。訪問は日曜日であったので、いくつかのイベントが開催されていました。

(正面外観)



(構造内観)



隈研吾建築都市設計事務所 HPから抜粋

北陸新幹線飯山駅（2015年開業）の駅前にたつ、文化ホールと地域交流施設の複合体。

室内化された路地空間によって2つのホールと多世代交流施設をつなぎ、その路地を「ナカミチ」と名づけた。ヒントとなったのは雪国地域の「ガンギ」と呼ばれる屋根付きアーケードで、その木のフレームと土間の作るヒューマンでインティメートなコミュニティのための空間を、現代に蘇らすことができた。

ナカミチの屋根は鉄と木の混構造のフレームによって支えられ、地元の木材、土を想起させる湿り気のあるやわらかな床、地元の職人のすいた和紙で構成された空間は、ハコモノと呼ばれた従来の公共空間とは対照的な、温かな空気感が漂っている。

コールテン鋼とカラマツのファサードによって覆われた小山のような全体形は、緑の裏山と一体となって、新幹線の乾いた抽象性とのコントラストを作った。

清水建設 HPから抜粋

様々な素材を緻密に組み上げた建物。

鉄筋コンクリートの躯体に鉄骨の梁をかけ、カラマツとコールテン鋼で覆った飯山市文化交流館「なちゅら」は、全ての梁が斜めに接合された繊細な建物です。内装はプレカットされたカラマツ、ヒノキなどの長野県産木材や和紙などで、飯山市の自然を表現する仕上げとなっており、通常の建物以上に入念な検討が必要でした。躯体工事が豪雪期に重なったこともあり非常に難しい工事でしたが、緻密かつ地道な計画と施工の末に、市民や観光客などに幅広く利用して頂ける、素晴らしいデザインの文化交流館をつくり上げることができました。

長野県県民文化部文化政策課 HPから抜粋

大・小ホール、音楽スタジオほか多目的ルーム等を設置。500席の大ホールは可動席を収納することで平土間形式に、小ホールは自然光が差し込む繊細なイメージを演出。多目的ルームは会議・展示や軽運動の場として、ナカミチと愛称を持つロビースペースはにぎわいと交流の空間として活用。隈研吾建築都市設計事務所によるデザイン。

情報参照ホームページ

斑尾ジャズ 2020 HP

<http://www.madaraojazz.com/>

信州の旅 COM HP

<https://www.shinshu-tabi.com/madarao2.html>

隈研吾建築都市設計事務所 HP

<https://kkaa.co.jp/project/iiyama-cultural-hall/>

清水建設 HP

<https://www.shimz.co.jp/solution/case004/>

長野県県民文化部文化政策課 HP

<https://www.culture.nagano.jp/facilities/3428/>

<LFJブックレビュー 77>

『イエス・キリストは実在したのか?』R・アスラン著 白須英子訳

2014年7月刊 文藝春秋

斉藤全彦

原書は“ZEALOT—The life and times of JESUS OF NAZARETH”というもので、即ち、『狂信者—ナザレのイエスその生涯と時代』というもので、実に一般的な表題であり、その内容もイエスという人物を歴史的に探究した堅実な読み物である。従って、『イエス・キリストは実在したのか?』という表題は、この著者の意図と異なっているし、著者への敬意が感じられないまったくもって失礼な行為であると言えよう。著者は現在カリフォルニア大学でイエスについての実像に迫る研究を20年以上続けてきたキリスト教研究者であるが、もともとは1972年テヘラン生まれのイラン革命によるアメリカ亡命者の一員である。著者の内心には、アメリカで生活するということは、「イスラームについての話題はタブーになる」という鬱積があり、その反面、アメリカにおいてイエス・キリストの福音を盲目的に信じる群衆に圧倒されるのであった。それではその主役であるイエス・キリストとはどういう人物であるか、アメリカの国民的ドラマの主役を知ろうという動機になるのは必然である。

「ローマ帝国の無慈悲極まりない占領に大胆に反抗する動乱の時代を生きた歴史上の人物としてのイエスを知れば知るほど、私は彼に心を惹かれるようになった。」という。

先ずもって、「福音書はそこで書かれている出来事が終わってから長い年月が経ったあと、信奉者の共同体内で形成された信仰の証なのである」という客観的な立場に立ち「福音書は救世主イエスについて語っているのであって、イエスという人物について書かれたものではない」ということになる。イエスに関する最古の資料はマルコによる福音書であり、イエスが死んでから約40年後の紀元70年以降に初めて書かれたとされている。即ち、実際のイエスは愛と平和を説いた救世主というイメージとはかけ離れる。そして、イエスの処刑方法であるが、「十字架刑は、当時のローマ帝国が反政府的扇動罪にだけ適用していた処罰法だった」ということである。処刑場の小板には「暴動の扇動者」と掲げられていたという。

歴史上の人物としてのイエスを探求するには当時の彼を取り巻く宗教並びに思想的状況を知る必要がある。ローマ帝国とユダヤ教として紀元前後のこのイスラエルという土地が持つローマ帝国との関係性を考察する。ローマ帝国はこの土地を重要拠点と考え、紀元6年にはユダヤ全土をローマの直轄地にした。何百年もの間ユダヤの王が統治してきた土地をローマ帝国は完全に踏みしめたということになる。この屈辱感はなかなか理解できぬことであろう。

ここに、革命家イエスが誕生する。ローマ帝国占領からエルサレムを開放するためにイエスは登場する。彼はその行為が死に値することを承知のうえで、エルサレムに現れる。「これは聖都の住民に待望のメシア—本物のユダヤ人の王—がイスラエルをその軛から解放するためにやってきたことを告げる紛れもないメッセージだった」ということになる。神はローマ人が奪った土地を返してもらう権利がある。なぜなら、それは神の土地だからだ。ローマ皇帝はその土地となんの関係もない。「皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい」ということになる。(斉藤全彦)



〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町 14-5-502
TEL : 03(3780)3814
FAX : 03(6379)6681
E-mail : info@keikan-forum.com
URL : <https://www.keikan-forum.org>

